

製品名: AKAP 2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06722**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	96kDa

抗原情報

遺伝子名	AKAP2
別名	AKAP2; KIAA0920; PRKA2; A-kinase anchor protein 2; AKAP-2; AKAP-KL; Protein kinase A-anchoring protein 2; PRKA2
遺伝子 ID	445815/11217
SwissProt ID	Q9Y2D5
免疫原	抗血清はヒト AKAP2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

背景

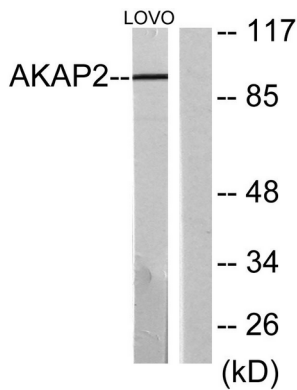
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、プロテインキナーゼ A の調節サブユニットに結合し、アクチン細胞骨格に局在する

ことが知られています。コードされるタンパク質は cAMP によって伝達されるシグナルを媒介し、特定のシグナル伝達過程における極性形成に関与している可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 3 つの転写バリエーションが見つっています。 [RefSeq 提供、2011 年 3 月];注意:Met-1 と Met-3 のどちらがイニシエーターであるかは不明です。機能:タンパク質キナーゼ A の調節サブユニット (RII) に結合します。シグナル伝達系における極性の確立、または PKA-RII アイソフォームと下流エフェクターの統合に関与し、cAMP によって運ばれる拡散した細胞内シグナルを捕捉、増幅、集束させる可能性があります。、その他:天然の AKAP2-PALM2 キメラタンパク質として、異なる発現を示す可能性があります。、類似性:パラレミンファミリーに属します。、組織特異性:乳児の心臓、筋肉、線維芽細胞で発現します。、

研究分野

-

画像データ



AKAP2 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。